

# 高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゅういき

高梁川流域の

指定文化財(建造物)



場所

高梁市成羽町坂本1604



時代

江戸時代



指定年月日

平成15(2003)年  
12月1日



所有

個人



見学

見学可

にしえけじゅうたくほか

## 西江家住宅ほか

新見市

高梁市

総早倉矢井浅里笠  
社島敷掛原口庄岡  
市町市町市市町市



### この建造物について

西江家は、広兼家と同様、鉾山経営とベンガラ生産の中間生成物であるロー八の生産で巨大な富を得ました。西江家住宅は、代官御用所を兼ねたため、郷蔵・式台・手習い場など、役所の機能を果たした建物も残されています。西江家の6代目が島根県の石見地方から大工と瓦職人を招聘し、20年かけて作りあげた建物とされています。

江戸時代はじめ頃に、3代目がベンガラ製造に着手し、江戸時代中ごろに量産化に成功し、産業化させました。ベンガラは大名間の贈答品である伊万里焼などの絵付用の顔料、漆器・塗料などさまざまなものに用いられる赤色顔料として使用されました。